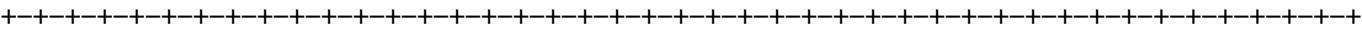


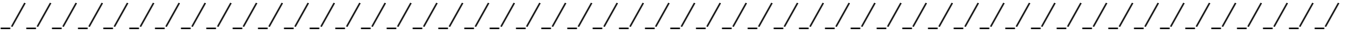
2005/6/17

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第6号



◆ INDEX



- * TOPICS
- * 健康ワンポイントアドバイス
～木下 昭生 産業保健相談員～
- * 今月の Key Word【熱中症による死亡】
- * 労働災害事例(衛生関係)
- * 新着情報
- * 研修・セミナーのご案内(6・7 月分)

◆ TOPICS

◆「職場における喫煙対策の取組み状況について」を公表／厚労省◆
 厚生労働省は平成17年5月30日、平成15年5月公表された「職場における喫煙対策のためのガイドライン」に基づく職場の喫煙対策の取組み状況の調査結果を発表。
 「喫煙対策に取り組んでいる事業場は、8割をこえるが受動喫煙防止対策としては未だ不十分」との課題が明らかになった。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2005/05/h0530-1.html>

たばこと健康に関する情報ページ
<http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html>

◆ 健康ワンポイントアドバイス

|||||《食中毒》|||||

産業保健相談員 木下 昭生

毎日、暑い日が続いています。夏場には、食中毒に注意が必要です。食中毒は、細菌によるものとウイルスによるものが知られていますが、特に夏場は、細菌性食中毒に注意が必要です。食中毒の症状は、嘔吐、水様の下痢、激しい腹痛、血便、高熱などです。

■病原体/□代表的な原因食品//◇潜伏期間(病原体に感染してから、病気の症状がでるまでの期間)

■腸管出血性大腸菌(0-157 等)/□生や過熱不十分の食肉//◇3～8 日

- 腸炎ビブリオ/口魚介類の刺身、すし類//◇10～24 時間
- サルモネラ/口卵、卵製品、洋菓子//◇平均 12 時間
- 病原大腸菌(出血性以外)/口弁当、給食//◇平均 12～72 時間
- カンピロバクター/口鶏肉、牛生レバー//◇2～5 日
- 黄色ぶどう球菌/口おにぎり、饅頭//◇数時間

食中毒にかかったら、水分をこまめにとり、水分不足(脱水症)に注意しましょう。

消化しやすい食事(おかゆやうどん等)をとりましょう。菌を体外に排出するのが大切です。下痢止めはなるべく使用しないようにしましょう。状態がよくなるないときは早めに医療機関を受診しましょう。

食中毒にかからないようにするには、①消費期限を確認し食品を購入する、②冷蔵、冷凍庫の必要な食品はすぐに冷蔵、冷凍庫に入れる、③魚、肉、卵をあつかう時には前後で手洗いをする、④生の肉や魚を切った後包丁やまな板は熱湯をかける。⑤加熱が必要な食品は十分加熱する、⑥調理前後の食品を室温に長く放置しない。⑦残った食品で時間がたちすぎたら思い切って捨てる、などの工夫が必要です。

◆ 今月の Key Word【熱中症による死亡】

熱中症には、熱射病、熱けいれん、熱虚脱、熱疲労があります。

熱中症により死亡災害の発生する件数は、平成 7 年から平成 16 年の 10 年間でみると、全国で平均 17, 6人となっています。

また、平成 14 年から平成 16 年の全国データによると梅雨の明けの7月から8月にかけて最も多くなっております。

この過去 3 年間の死亡災害をみると、業種別では、建設業が75%を占めております。また、作業日数別に被災状況をみると、作業開始の初日から 3 日までが大半を占めております。

熱中症にかからないためには、積極的に水分・塩分を取り、吸湿性、通気性の良い服装をすることが大事です。

労働現場では、熱中症の症状が出ているのに、悪化するまで、本人や周囲が気づかない場合や応急措置を取っていない場合もみられます。一方で、睡眠時間、食事など日常の健康管理に問題のみられる場合もあります。

熱中症を発生させないためには、作業環境管理や作業管理の徹底を図る必要があります。

作業管理者及び作業員に対しては、熱中症の症状、予防方法、救急措置、災害発生事例の教育を行う必要があります。

また、作業員は自ら健康管理を徹底して熱中症にかからないようにしましょう。

◆ 労働災害事例(衛生関係)

/////硫化水素中毒により死亡 1 名/////

○日時・場所

平成 11 年 7 月、関西地方の設備工事業の現場で発生。

○内容

ホテル内の地下污水处理施設において、浄化槽の下部に溜まった汚物を除去する作業を行っていた

1名の労働者が、堆積していた腐泥から発生していた硫化水素を吸入し、被災。

○発生原因等

酸素濃度および硫化水素濃度測定未実施、換気未実施、作業主任者未選任、特別教育未実施、連絡調整体制不備。

<<「労働衛生のしおり」平成12年度版より>>

◆ 新着情報

★新着パンフレット★

▽平成17年度 熱中症パンフレット

無料配布中です。

☆ 新着雑誌 ☆

■働く人の安全と健康／6月号

特集◎石綿障害予防規則の施行へ向けて

■安全衛生のひろば／6月号

特集◎工具の正しい使い方

■労働安全衛生広報／No. 868

NEWS◎平成16年の重大災害は274件

■へるすあっぷ21／No. 248

特集◎予防歯科のススメ

いずれの雑誌もセンターでご閲覧いただけます。

◆ 研修・セミナーのご案内(6・7月分)

=== 衛生管理者等研修 ===

▽7月4日(月):セルフケア～気づきとストレス解消のための指導【江崎相談員】

▽7月20日(水):存在の認識と発想の転換による産業保健活動の進め方【三角所長】

=== 産業看護職等研修 ===

▽7月14日(木):職域と地域の連携を探る～生涯を通じた健康づくり【江崎・田吹(好)相談員】

共催:大分市保健所

=== カウンセリング研修 ===

▽7月12日(火):事例検討【佐用相談員・渡嘉敷講師(シニア産業カウンセラー)】

=== 産業医研修 ===

▼6月29日(水):産業医をめぐる法律問題 ～安全配慮義務、個人情報保護法等

【平山講師(弁護士・平山法律事務所所長)】

▽7月9日(土):労働安全衛生マネジメントシステムとは何か 【古庄相談員】13:00～15:00

